

専修大学LLだより

<特集> 専門科目担当の先生に聞く外国語あれこれ ... P2~P5
 平成12年度 主な検定試験の年間予定 P2、4、5
 LL インフォメーション: LL 研究室の年間行事紹介他・P6

LL への誘い

入学、進級おめでとうございます。野山の草木が一斉に花開き、まるで我々を応援しているかのようです。4月と言う季節は不思議と何か新しいことに挑戦してみようかと思わせる季節でもあるようです。我々教員にとっても、今年はどんな教材を使ってどんな授業をしようかと考えるのが楽しい季節です。皆さんはどんなことを始めようと考えていますか。外国語学習なんてどうでしょうか。今までは入試ということに縛られて、英語の勉強を楽しいと感じたことはなかった人が多いのではないのでしょうか。LL 教室、テープライブラリーは様々な手段を使いながら、楽しく外国語学習を行っていくための支援していく場所であると言えるでしょう。

LL 教室での授業ではそれぞれの担当の先生がテープ、ビデオ教材等を使って楽しい授業を繰り広げています。また、LL D 教室ではコンピュータを使っての授業も楽しそうでしょうか? 外国語学習法の新しいヒントを見つけることが出来るかもしれません。

さて、大学の外国語の授業は少ないとは思いませんか。授業だけでは思うように上達しないと感じている人も多いのではないのでしょうか。そんな人には、テープライブラリーをお勧めします。英語にはあまり良いイメージを持っていなくても、映画は好きだという人は多いと思います。そんな人にはテープライブラリーにそろっている映画ビデオがお勧めです。クローズドキャプションデコーダーを使いながら視聴すれば、映画の字幕を見ながら結構学習ができるはずです。授業の合間を使ってLL テープ

ブラリーに通ってみるのはどうでしょうか?

具体的な目的のために特定の外国語の力を伸ばしたいと考えている人、検定試験に挑戦したいという人もいるでしょう。そんな人たちも LL テープライブラリーへどうぞ。映画ビデオ以外にも色々なビデオ、テープ教材、雑誌また検定試験問題集等がそろっています。さらに、本学には色々な海外研修、留学制度が整っています。(詳細は国際交流センターへ) そんな制度を利用して海外留学を体験しようと考えている人も多いかも知れません。そんな希望を持っている人にとってもビデオ、テープ等による音声教材は大きな助けとなることと思います。

どのように勉強したらよいか悩んでいる人はいませんか。英語以外の外国語として新しい外国語に接して戸惑ったりしていませんか。そんな人のために外国語相談が設けられています。多くの教材を前にどれをどのように使ったらよいか分からない場合もあるでしょう。どんな勉強が良いのか、自分の目的に合った勉強法はどうしたらよいかなどをどんどん相談してみましょ。LL 教室、テープライブラリーは1号館地下とちょっと分かりにくい場所にあります。しかし LL 教室は外国語学習のための情報がたくさんあります。足繁く通って、外国語の上達を心がけ、新しい世界へはばたいて行ってほしいと思っています。さあ、何かはじめてみませんか。

LL 研究室長 経営学部教授
 大森 洋子 (スペイン語)

「人と同じバスに乗らず、 自分の道を見つける」

経営学部では「英語以外の外国語」は必修ではない。そのせいか、新たな期待に満ちた1年生が面白そうだと思っても時間割に必修科目がめじろ押しになっているのを見ると、一步退くことがあるようだ。

しかし1年次でなければ英語以外の外国語を勉強できないわけではない。たまたま知り合いのアメリカ人やドイツ人の大学院生を見ていると、学部で日本語を勉強してしばらく働いた後で大学院で経営学を勉強したり、あるいは逆であったりする。

もちろん1年次で始めてもいいが、2年次以降にだって英語以外の外国語に挑戦してもいいのではないだろうか。人と同じバスに乗っていればよいという終身雇用の時代はどうかやら終わり、これからは自分自身の職歴を築いて行かねばならないらしい。そうすると他にやる人が少ないことにこそ価値があるかもしれない。たとえば、ドイツの企業や経済は重要だし、ドイツ語が少しでもできれば、仕事の幅も広がるのだ。

経営学部教授 丹沢 安治
(経営組織論)

フランス語の誘惑

「明晰でないものはフランス語でない」とは、フランス人がフランス語の特徴を語るとき、かならず持ち出す言葉であり、これを誇りとしているようだ。デカルトの合理主義を愛するフランス精神が実に良くあらわれていると言えよう。フランス語を学びはじめのころフランス人の教師は「フランス語の文章はすべて論理的に分析・説明できる」と言っていた。また、会話の練習では、「論理的に」「明晰に」話せと繰り返しいわれた。このようなフランス語を共有することがフランス人のアイデンティティの重要な要素をなしている。われわれも、フランス語にあわせて自分の脳味噌を訓練していくと、自分の思考もしだいに明晰になっていくような気がするのである。

私は日常的にフランス語に接している。それは研究上の必要もあるが、それだけでなく、その時間は、発想のシャープな女性と会話しているような気分を味わうことができ、いわばフランス語に誘惑されてある時間を楽しんでいるのである。

法学部教授 高橋 清徳
(西洋法制史)



平成12年度 主な検定試験の年間予定

Part 1

TOEIC	試験日	5月28日(日)	申込締切	4月19日(水)
	"	7月23日(日)	"	6月21日(水)
	"	9月24日(日)	"	8月23日(水)
	"	10月29日(日)	"	9月27日(水)
英語検定	試験日	6月18日(日)	申込締切	5月22日(月)
	"	10月22日(日)	"	9月25日(月)
	"	2月4日(日)	"	1月10日(水)

*** 申込書はLL事務室に備えてあります ***

機と覚悟の問題

大学時代ずいぶん語学の時間があったが、嫌でたまらなかった。とくに小学生でもアクビを連発するような無内容な教材と「会話重視」の中身が。語学を学びたいのではなく、その言葉が使われている社会に関心があったのに、大多数の教員は教材の選択理由・目的を説明する責任すら果たさなかった。抗議すればよかったと今になって思うが、当時は徹底的にサボることで抵抗した。当然、いろんな面で損をした。

暇になった時間を利用してブラジル音楽のバンドに入った。何の脈絡もないが、そこで語学の天才と秀才に出会い、それまで思いもよらなかった語学の勉強方法を学んだ。天才の方は2年生にして既に8か国語に堪能だった。秀才は後に応用言語学の博士号を取得し、今は自動翻訳ソフトの開発研究を楽しんでいる。

特徴は4点ある。第一に徹底的に金と時間をかけること。辞書・文法書の類はすべて購入する(古本で十分)。本国で出版されているものも含めて。金と時間は有限だから、当然、他の日常生活が犠牲になる。自動車教習所に通うような学生は語学がうまくなるはずがない、というのは私の口癖だ。そんな金と暇があるなら、辞書・文法書を揃えて短期語学研修に行きなさい。

第二に、できるだけ短期間で集中的に文法構造を学び、他人に教えること。成長とともに自然に身につくネイティブではないのだから、大人の外国人にとってはこの方法が最善だろう。語学と同じく、音楽や社会科学でも、できるだけ早く基本的な文法構造を理解するのが上達の早道だ。そのうえ友人に教えることで、理解がいつそう明確になる。中学時代に文法嫌いになってい

ても、大学生になるまでに相当知力が発達しているはずだから、良い教師に恵まれれば、それほど大変な作業ではないはず。

第三に、語源に関心をもつこと。二人に出会うまで etymology なんて言葉さえ聞いたことがなかったが、語源オタクと一緒にいるうちに、語彙を増やすのに最適だと分かってきた。ラテン系言語を一気に覚えるには特に役立つ。語源辞典はかなり高価なので、英語なら当面は Heritage で間に合うだろう。

第四に、徹底的に読むこと。読むことが会話上達への確実な道だというのは、私の経験則でもある。まず一冊、読み通すと自信がつく。ペーパーバックの古本で戯曲や小説を読み飛ばし、留学先での話題づくりにも役立った。

ただし誰もが外国語を習得できるわけでもないし、その必要もないだろう。という点については、加藤周一のエッセー「夕日妄語」(朝日新聞 2000年2月17日、夕刊)をお読みあれ。

経済学部教授 狐崎 知己
(国際関係論)

Part 2

平成12年度 主な検定試験の年間予定

独	検	試験日	6月25日(日)
		申込締切	5月12日(金)
中国語検定		試験日	11月23日(木)
		申込締切	10月13日(金)
		試験日	6月25日(日)
		申込締切	5月18日(木)
		試験日	11月19日(日)
		申込締切	10月17日(火)
		試験日	3月25日(日)
		申込締切	2月19日(月)

*** 申込書はLL事務室に
備えてあります ***

中国語で小説を読もう！

「大学入試用英単語集」よ、
ありがとう！

intellect, conscience, tradition・・・これは、専修大学の建学精神のことではなくて、僕が大学受験の浪人時代に利用していた英単語集で出てくる一番最初から三番目までの単語です。この単語集は当時定評があって、予備校でも一緒だった高校時代の友人たちも利用していました。その後クラス会で会うと、酔っぱらった二次会の飲み屋で、座興のひとつにお互い今でもどこまで覚えているか言い合っていて楽しんでいます。ルールは、単語だけでなく、単語集に出てくる順番まで正確でなければいけません。僕の場合、最初の3個が限度です。なかにはこれを15個ぐらいまで言える友人がいて、まわりをあきれ顔にさせるほどです。

この単語集は、いまでもすぐに手が届く本棚の隅っこに置いてあります。僕の研究分野は会計学ですが、英文専門書を読む、外国の大学に行って英語を話す、英文論文を書くという場面でこの単語集はことごとく役立っていることを実感しています。会社に入った友人達も同じようなことを言っていました。つまり、その単語が体に染みこんじゃったわけです。今考えると、大学生になっても、帰宅中の電車の中で毎日その単語集をながめていたことがよかったのではないかと考えています。皆さんも試してみたらいかがですか？
商学部教授 佐々木 重人（会計史）

中国語を始めようとするとき、皆さんが学ぶのは当然のことながら現代中国語です。

でも、現代中国語ができるようになると、意外に古い物語が読めるのです。たとえば皆さんのなかにもきっとファンが多い『三国志演義』。この16世紀の小説を原文で味わうことなど思いつかないかもしれませんが、実はそれほどむずかしいことはありません。劉備と義兄弟の契りを結んだ張飛は劉備のことを「あにき」と呼びますが、この「あにき＝哥哥」とは中国語を勉強し始めればすぐに習う「兄」という単語です。登場人物の名前も中国語で発音すると新鮮です。また、皆さんには漢文の知識もありますから、それと中国語の知識を合わせれば、中国古典小説を楽しむことができるのです。長い小説ですから通読するのは翻訳だとしても、お気に入りの場面を原文で読んでみるというのはいかがでしょう。そして、もしも中国の人と話をする機会があれば、きっと『三国志演義』や『水滸伝』、『西遊記』などの登場人物たちが現在の中国でも親しまれている「超人気キャラ」であることがわかるでしょう。

文学部助教授 廣瀬 玲子
（中国文学）



携帯用パソコン、今・昔

今さら言っても始まらないが、科学技術の発達は早いものである。昨日最新式の機器を買ったのに、今日になったらたちまち時代遅れになってしまうことなど、ぜんぜん珍しいことではない。たとえばこの文章を作成している Dell 製のノートパソコン、ちょうど2年前の3月に購入したときには最新のスペックで自腹で約34万円も投資したのに、今では中古パソコンショップでせいぜい5、6万円の価値しかないだろう。2年間で商品価値が80%以上も下落してしまったわけである。

最近わたしはノートパソコンにかえて、PDA(Personal Digital Assistant)あるいは携帯端末と呼ばれているものを持ち歩いている。これは重さが770グラムしかなく、大きさも縦24.5 横13.1 厚さ2.9センチと小さなバッグでも十分に持ち運びができる。ハードディスクを使っていないため取り扱いにそれほど注意を払う必要がない。簡易版のウィンドウズCEを使っているので機能や使えるソフトに制限はあるが、用途を限定すれば十分に役に立つ。電池の駆動時間が10時間と長く、簡単に教室に持って行けるので便利である。

最近のパソコンは多機能で、ソフトも定期的にバージョンアップされてその都度勉強しなければならないのは結構しんどいものである。このように機能が単純化された機械はかえって使いやすいともいえる。自分がパソコンで今よく使う機能は、(1)Eメール、(2)

文書作成、(3)インターネット、(4)辞書利用、(6)データ参照、(7)メモ書きなどでいずれもわたしのPDAでおおむね十分である。特に自宅と大学が離れていて絶えず移動しながらメールをチェックする必要がある場合には、PHSや携帯電話が使えるPDAは便利である。

コンピュータはアメリカで発達しただけに英語を利用する人には大変な利益をもたらす。インターネットの世界の共通語は英語であるし、英語で公開された公的・私的データベースは今や膨大な数となっているのである。たとえば、19世紀(そして18世紀)の著名な文学書や公文書はたいてい電子テキスト化されて公開されており、昨年のわたしのゼミではボウの詩や短篇のテキストはすべてインターネットで入手することができた。わたしのPDAはこのようなテキストやデータがぎっしり詰まっただけで必要なときにいつでも参照できるのである。

ただいくら便利だと言ってもPDAですべてがこなせるわけではない。印刷機能は貧弱だし、画面の小ささは長い文書には不向きである。パソコンとリンクさせて初めて十分に能力を発揮できるものである。気になる価格は昨年の発売時は11万円したものが今では8万9千円に下がっている。しかしコンピュータを利用する人は価格の変化をあまり気にしない方がいいだろう。価値が下落している間にたっぷり利用したから後悔はない。と、わたしはいつも自分に言い聞かせている、のだが.....。

文学部教授 並木 信明
(アメリカ文学史)

Part 3

平成12年度 主な検定試験の年間予定

仏 検	試験日	6月11日(日)	申込締切	5月8日(月)
		11月26日(日)	"	10月18日(水)
スペイン語検定	試験日	6月25日(日)	申込締切	5月31日(水)

*** 申込書はLL事務室に備えてあります ***

LLインフォメーション

LL 研究室の年間行事紹介

LL 事務室では下記のような行事を開催しています。LL 教室での授業を履修していない人、神田校舎の人も利用できますので、是非活用して下さい。

語学学習相談

語学学習に関わるどのような相談にも応じます。LL 事務室で受け付けていますので、気軽に利用して下さい。

相談可能な言語：英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・日本語

相談担当者：各科目の担当教員

コンピュータ講習会

生田校舎の D 教室にある Mac のコンピュータを自習で使用するためには、D 教室での授業を履修しているか、この講習会を受講しなければ利用できません。

CD-ROM 教材も豊富にありますので、是非受講し語学学習にコンピュータを役立てて下さい。

講習内容：欧文、和文の文書作成
ホームページの利用
E mail の利用
D 教室完全利用

詳細については現在未定ですが、追って掲示にてお知らせします(5 月に 2 回開講する予定です)。

LL だよりの発行

語学学習に役立つ情報を特集したり、LL 教室の有効な利用方法や教材紹介を始め、語学に関する事を幅広く皆さんにお知らせしていきます。

年数回発行されますのでお楽しみに。その他皆さんからの質問、要望をお待ちしていますので、気軽に LL 事務室窓口スタッフに声をおかけ下さい。

LL 自習室の特徴

クローズドキャプションコーダー

英語字幕を自由に表示したり消したりできる機能です。おもしろい映画を見ながら、生きた英語を楽しく学べます。

テキスト(日本語訳シリオ)も用意しています。

神田校舎・生田校舎両方の LL にクローズドキャプションコーダーは設置され教材も多数用意しています。大いに活用して下さい。

教材紹介

このコーナーでは新着教材や興味深い教材の紹介をしていきます。

今回は LL テープライブラリーで購読している週刊・月刊教材、新聞を紹介します。(下線のある教材は生田校舎のみ購読)

週刊誌：Time、Newsweek

月刊誌：NHK ラジオ講座(英会話・やさしいビジネスイング語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・ハンガール・ロシア語)

English Journal、時事英語研究、English Express、

English Network、基礎ドイツ語、Schau ins land (ドイツ語教材) 言語、Mac Power

新聞：The Daily Yomiuri、The Japan Times

* 週刊・月刊教材(雑誌のみ)のバックナンバーは学外貸し出しをしています。利用して下さい。

皆さんの声をお待ちしています!

専修大学 LL だより 第 7 号

発行日 2000 年 4 月 1 日
(平成 12 年)

編集発行 専修大学 LL 研究室
室長 大森 洋子